

平成29年度「全国学力・学習状況調査」における春日井市全体の結果について

春日井市教育委員会

平成29年4月18日（火）に、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の春日井市の結果の概要についてお知らせします。

なお、この調査の結果は、児童生徒の学力の一部であることをご承知おきください。また、この調査の詳細は、国立教育政策研究所のウェブサイト「全国学力・学習状況調査」により確認できます。

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

1 小学校6年生

(1) 教科の状況

状況を見るにあたって、よくできている内容【○】と努力を要する内容【△】の一部及び今後の指導のポイントを紹介する。

【国語・小学校6年生】

国 語	区分	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
	状況	正答率：全国平均と同程度 分 布：上位層が少ない	正答率：全国平均よりやや低い 分 布：上位層が少ない
	内容	○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む。 ○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。 ○目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。 △手紙の基本的な構成を理解し、手紙を書く。	○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える。 ○スピーチの内容を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す。 ○目的や意図に応じ、引用して書く。 △自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える。 △目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。
今後の指導のポイント			
・手紙を書く相手や目的を明確にし、手紙の基本的な形式とともに手紙の形式が持つ意味を理解して、手紙を書けるようにする。 ・目的や意図に応じて、取材の内容や方法を工夫して書く事柄を収集し、その中から、具体的な事実と自分の感想、意見などを区別しながら必要な内容を整理して書けるようにする。 ・ものの見方や考え方を広げるために、物語を読んで感想を伝え合い、一人一人の感じ方の違いに気付いたり、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・物語を読み、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写などについて、優れた叙述について自分の考えをまとめることができるようにする。 ・漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中で正しく使うことができるようにする。			

【算数・小学校6年生】

算 数	区分	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
	状況	正答率：全国平均と同程度 分 布：上位層が少ない	正答率：全国平均と同程度 分 布：上位層がやや少ない
	内容	○具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している。 ○小数の乗法の計算において、乗数を整数に置き換えて考えるときの、乗法の性質を理解している。 ○二つの数の最小公倍数を求めることができる。 ○資料を二次元表に分類整理することができる。	○示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することができる。 ○示された条件を基に、適切な式を立てることができる。 △身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる。 △割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができる。
	今後の指導のポイント		
	・「計算の意味」と「計算の仕方」を関連づけて、計算ができるようにする。 ・問題場面に含まれている必要な情報を選択したり、数学的に解釈したりする能力を身に付けさせ、日常生活の問題に適応できるようにする。 ・実験結果や測定結果などを工夫して適切にデータ処理し、それを活用することのよさを実感できるようにする。 ・実際に図形を構成したり分解したりして、図形の性質について理解を深めるようにする。 ・日常生活の事象を、割合や表、グラフなどを活用して考察することのよさを実感できるようにする。		

(2) 学習・生活習慣等の状況

状況調査を見るにあたって、学習・生活習慣等を「生活習慣」「学校・家庭での生活の様子」「自尊意識」「規範意識」「学習の様子」の観点から分析する。

全体の傾向（様子）のよい点【○】と改善が必要な点【△】及び学習・生活習慣等と教科の調査結果との関連について紹介する。

全体の傾向（様子）【小学校6年生】
【生活習慣】 ○朝食を毎朝食べている。 ○同じくらいの時刻に起きる。 【学校・家庭での生活の様子】 ○家の手伝いをしている。 ○友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞く。 ○学校に行くのは楽しい。 ○友だちに会うのは楽しい。 ○好きな授業がある。 △テレビやDVD等の視聴やテレビゲーム等をする時間が長い。 △学校の授業の復習をしていない。 △家庭での学習時間が短い。（平日・休日） △読書の時間が短い。（授業以外） 【自尊意識】 ○将来の夢や目標を持っている。 ○物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある。 △難しいことに対して、失敗することを恐れてしまう。 【規範意識】 ○学校のきまりを守っている。 ○友達との約束を守っている。 ○人の役に立つ人間になりたい。 ○いじめは、どんな理由があってもいけない。 ○人が困っているときは、進んで助ける。 【学習の様子】 ○「総合的な学習の時間」の勉強が好き。 ○国語・算数の授業は大切だと思う。 ○友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞く。 ○友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つ。 △授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かせていない。
学習・生活習慣等と教科の調査結果との関連
・「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝起きしていますか」との質問に肯定的な回答をしている児童ほど、学力調査（国語・算数）の正答率が高くなっている。また、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」との質問に肯定的な回答をしている児童ほど、学力調査の正答率が高くなっている。 日々の寝起きの時刻や家庭で学習する習慣が学習面に影響していることが明らかになっています。学校においても、規則正しい生活習慣の確立に向けて低学年から発達段階に応じた取組を進めていきますので、ご家庭においてもご協力をお願いします。 ・「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」との質問に肯定的な回答をしている児童ほど、学力調査の正答率が高くなっている。 ものごとやり遂げた達成感が学習面に好影響を与えています。学校においても子どもたちを認める機会・場面を積極的に設定していきますので、ご家庭においても今日一日の出来事をお子さんに聞いていただき、がんばったことなどを褒めてあげてください。

2 中学校3年生

(1) 教科の状況

状況を見るにあたって、よくできている内容【○】と努力を要する内容【△】の一部及び今後の指導のポイントを紹介する。

【国語・中学校3年生】

国語	区分	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
	状況	正答率：全国平均と同程度 分 布：全国とほぼ同様	正答率：全国平均と同程度 分 布：上位層がやや少ない
	内容	○文脈に即して漢字を正しく書く。 ○文脈に即して漢字を正しく読む。 ○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。 ○助詞の働きについて理解する。 ○目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる。 △事象や行為などを表す多様な語句について理解する。 △楷書と行書との違いを理解する。	○集めた材料を整理して文章を構成する。 ○場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する。 ○目的に応じて資料を効果的に活用して話す。 ○登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。 △表現の仕方について捉え、自分の考えを書く。
	今後の指導のポイント		
・日常生活や社会生活で使われる事象や行為などを表す多様な語句が話や文章でどのように用いられているか理解し、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 ・同じ文字の楷書と行書とを比較し、筆順や運筆などの違いについて理解するとともに、それを生かして行書を書くことができるようにする。 ・文学的な文章を読んで感じたことや考えたことを書く際に、なぜそのように感じたのか、文章のどこからそのように考えたのかなどについて、根拠を明確にして書くことができるようにする。			

【数学・中学校3年生】

数 学	区分	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
	状況	正答率：全国平均より高い 分 布：中位層がやや多い	正答率：全国平均と同程度 分 布：全国とほぼ同様
	内容	○一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に、x と y の関係を式に表すことができる。 ○円錐を回転体としてどのように構成されているかを理解している。 ○平行移動した図形をかくことができる。 ○実生活の場面において、ある数量が正の数と負の数で表されていることを理解している。 △資料の範囲の意味を理解している。 △与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している。	○問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。 ○資料から必要な情報を適切に読み取ることができる。 △2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる。 △事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる。 △証明した事柄を用いて、新たな性質を見いだすことができる。
今後の指導のポイント			
・ 目的に応じてデータを収集し整理した表などから代表値を求める活動を通して、代表値の必要性や意味について理解できるようにする。 ・ 収集したデータを整理したグラフの形から分布の特徴を視覚的に捉えたり代表値を比較したりする活動を通して、資料の傾向を的確に捉え、数学的な表現を用いて説明できるようにする。 ・ 前提とそれによって説明される結論の両方を説明する活動を通して、数量や図形に着目して見いだした事象の特徴を、数学的に表現できるようにする。 ・ 事柄の意味を読み取り、読み取った意味に基づいて根拠を明確する活動を通して、事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにする。 ・ ある条件を保ったまま図形の形が変わる様子を観察し、辺や角について変わらない性質を見いだす活動を通して、いつでも成り立つ性質や関係を見いだすことができるようにする。			

(2) 学習・生活習慣等の状況

状況調査を見るにあたって、学習・生活習慣等を「生活習慣」「学校・家庭での生活の様子」「自尊意識」「規範意識」「学習の様子」の観点から分析する。

全体の傾向（様子）のよい点【○】と改善が必要な点【△】及び学習・生活習慣等と教科の調査結果との関連について紹介する。

全体の傾向（様子）【中学校3年生】
【生活習慣】 ○朝食を毎朝食べている。 ○同じくらいの時刻に起きる。 △寝る時刻が不規則。 【学校・家庭での生活の様子】 ○友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞く。 ○学校に行くのは楽しい。 ○友だちに会うのは楽しい。 ○好きな授業がある。 ○家で学校の授業の予習をしている。 ○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。 △携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネット等をする時間が長い。 △家庭での学習時間が短い。（土・日曜） △読書の時間が少ない。（授業以外） △図書館の利用が少ない。 △自分で計画を立てて勉強をしていない。 △家で学校の授業の復習をしない。 【自尊意識】 ○自分には、よいところがあると思う。 △難しいこと対して、失敗することを恐れてしまう。 【規範意識】 ○学校の規則を守っている。 ○いじめは、どんな理由があってもいけない。 【学習の様子】 ○友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意。 △授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている。
学習・生活習慣等と教科の調査結果との関連
・「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」との質問に肯定的な回答をしている生徒ほど、学力調査（国語・算数）の正答率が高くなっている。また、「家で、学校の宿題をしている」と回答した生徒の学力調査の正答率は高く、「どちらかといえば、している」と回答した生徒に対しても明らかに高くなっている。 日々の生活習慣や家庭で学習する習慣が学習面に影響していることが明らかになっています。学校においても、規則正しい生活習慣の確立及び家で計画的に学習をする習慣づくりに向けて学年に応じた取組を進めていきますので、ご家庭においてもご協力をお願いします ・「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」との質問に肯定的な回答をしている生徒ほど、学力調査の正答率が高くなっている。 学級で協力してやり遂げたことの達成感が学習面に好影響を与えています。学校においても学級・学年で取り組む行事や機会を設定していきますので、ご家庭においても今日一日の出来事をお子さんに聞いていただき、がんばったことなどを褒めてあげてください。